

私の履歴書

釜本 邦茂

⑬

はある意味、気の毒だ。

五輪が閉幕に近づいた頃、

君のような活況に水を差していいのだろうか。

会予選があること。主治医の

日笠敦先生に「時間さえかければ元に戻るけど中途半端に

西ドイツ、フランス、ウルグ

1968年のJSLでヤン

れば元に戻るけど中途半端に

アイのクラブから誘いを受け

1968年のJSLでヤン

退院はさせられない。慢性に

た。デットマール・クラマー

1968年のJSLでヤン

なるスポーツはできなくな

さんは「本人の気持ち次第だ

杯は決勝で三菱重工を私の得

暗になった。海外挑戦の夢も

が、プロになるなら一流のク

点で1-0で破り、念願の初

暗になった。海外挑戦の夢も

ラブにいけ」という考え。帰

タイトルを手にした。山岡浩

遠のいていきそうだった。

国後、ヤンマーの鬼武健二監

督に相談すると「西ドイツな

任者として日本に派遣

ら行っているぞ」。クラマー

さされてきたクラマーさ

んが7月、見舞いにき

病で消えたW杯出場

遠のく世界挑戦 目の前暗く

ウイルス性肝炎

メキシコ五輪は7

得点2アシストで日

本の全得点に絡め

た。4年前の東京五

輪に比べたら格段に

充実感があつた。得点王には

ちよつとした逸話がある。

準決勝でハンガリーは2本

のPKをノバクという選手に

蹴らせた。これを既に4得点

していたドウナイに任せてい

たら私の得点王はなかっただ

ろ。決勝はブルガリアが前

半で3人も退場者を出し、ド

ウナイの2得点などでハンガ

も良かった。頑張りの源は1

さんのいう一流クラブではな

かったので移籍話はいったん

封印することにした。

海外挑戦の意志を鈍らせた

もう一つの理由が五輪後の異

常な盛り上がり。再開した日

本リーグ(JSL)のヤンマ

ーと三菱重工の11月17日の試

合には国立競技場に4万人が

集まった。「プロ野球を追い

越す勢い」と書いた新聞もあ



五輪後の盛り上がりの中での11月17日のヤンマーと三菱重工の試合(右が筆者)

に行けるとサッカーを始めた

バチかな。W杯とは一生縁は

ないのかもしれない。選手生

命もどうなるかわからん。そ

んな思いを抱えながら病の床

に伏した日々。退院したのは

8月5日。入院から50日目だ

った。

(日本サッカー協会顧問)